

令和4年度 高冷地水稻生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(8月1日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		葉色				葉齢	出穂期	
						葉色板		SPAD値				
たかやまもち	本年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/26	
	前年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(前年:7/22)	
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(平年:7/25)	
あきたこまち	本年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/27	
	前年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(前年:7/24)	
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(平年:7/27)	
ひだほまれ	本年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/30	
	前年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(前年:7/27)	
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(平年:7/30)	
ひとめぼれ	本年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/31	
	前年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(前年:7/28)	
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(平年:7/31)	
コシヒカリ	本年	99.5	(-)	524	(-)	4.7	(-)	40.2	(-)	14.0	(-)	8/2
	前年	92.8		491		3.8		36.2		12.0		(前年:8/3)
	平年	-		-		-		-		-		(平年:8/3)

栽培条件: 移植5月16日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a 穂肥N=0.3kg/a

平年値: 過去5年間(H29年~R3年)の平均値  
( )内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月下旬の平均気温は平年並み、日照時間も平年並みであった。ただし、7月中旬は雨の日が多く、日照時間は少なかった。

2) 生育概況

出穂期は、早生品種の「たかやまもち」は平年より1日遅く、「あきたこまち」、「ひだほまれ」、「ひとめぼれ」は、平年並みであった。「コシヒカリ」は平年より1日早かった。

3) 病害虫等の発生状況

斑点米カメムシ類の発生がみられる。斑点米カメムシ類については病害虫防除所より注意報が出ている。

4) 今後の管理

出穂期は稲が最も水を必要とする時期であり、出穂後は湛水管理を行う。また、葉いもち病の発生が見られる圃場は穂いもち病への移行を防ぐため防除を検討する。

# 令和4年(2022年)の気象図

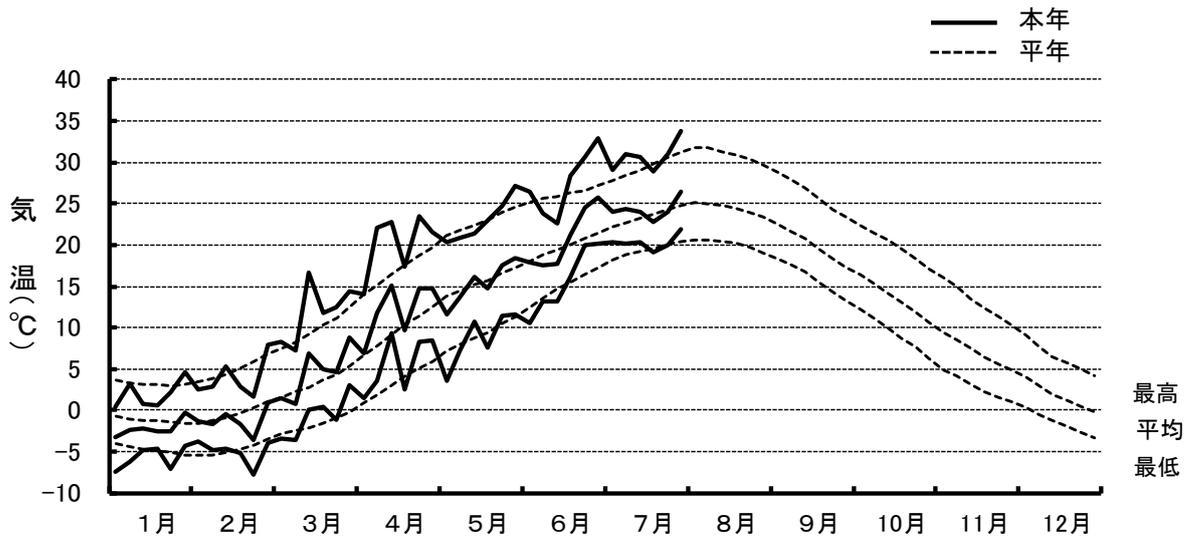


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

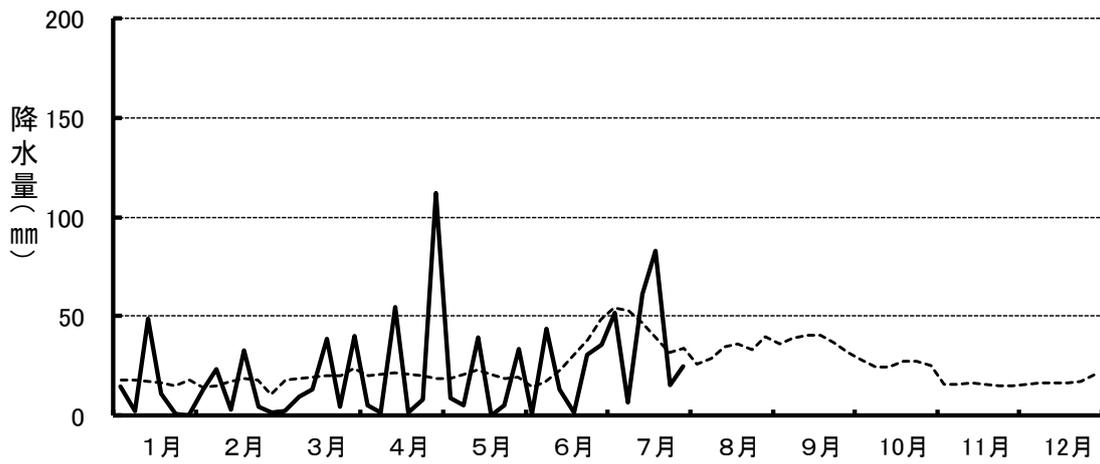


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

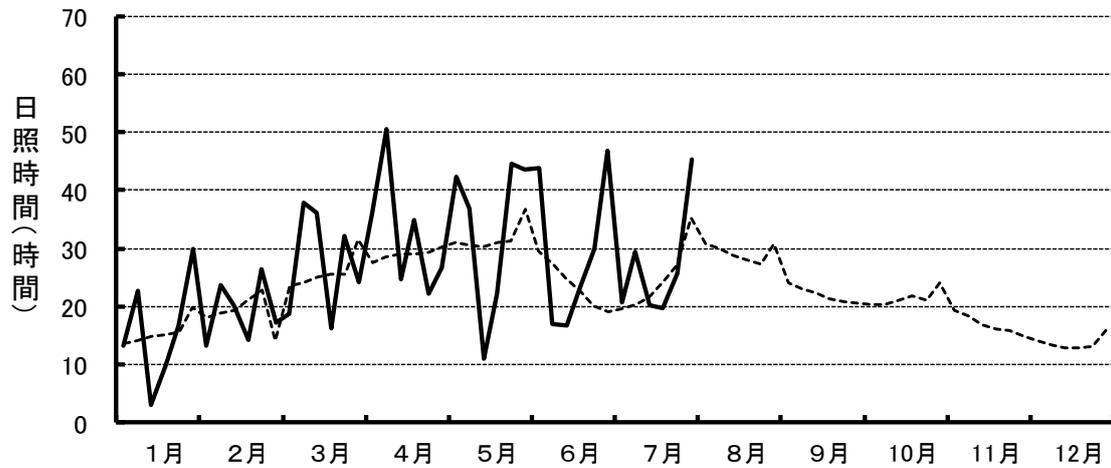


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)